

2018 年度日本文化人類学会次世代育成セミナー／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「人類学におけるミクロ・マクロ系の連関」文化/社会人類学研究セミナー

・日時：2018 年 11 月 17 日（土）13:00～19:00

・会場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研) 304、306 室

		第 1 会場(304)	第 2 会場(306)
13:00 ～ 13:05	挨拶	開会の挨拶 松村圭一郎(岡山大学)	
13:05 ～ 14:35	発表 A	発表 游乃憲(東京大学大学院) 「文化人類学からみる日本統治期台湾文学—佐藤春夫の『日月潭に遊ぶ記』『殖民地の旅』を中心に」 コメント 植野弘子(東洋大学)	発表 合地幸子(AA 研) 「インドネシア・ジャワの家族と高齢者ケア—見舞いから看取りまでの社会的動態を中心に」 コメント 鈴木七美(国立民族学博物館)
休憩			
14:40 ～ 16:10	発表 B	発表 アルベルトウス＝トーマス・モリ(AA 研) 「華人キリスト者による『短期宣教』への一考察」 コメント 藏本龍介(東京大学)	発表 川瀬由高(日本学術振興会／東京大学大学院) 「イスの坐りかた—中国の農民生活にみる予期された偶発性とアフォーダンス」 コメント 松村圭一郎(岡山大学)
休憩			
16:15 ～ 17:45	発表 C	発表 横田浩一(亜細亜大学) 「村の祭りと老人たち—中国広東省潮汕地域村落における民俗宗教と自律性」 コメント 片岡樹(京都大学)	発表 岩瀬裕子(首都大学東京大学院) 「協働的身体の知に関する試論—スペイン・カタルーニャ州、人間の塔の最下部を事例として」 コメント 菅原和孝(京都大学)
休憩			
17:50 ～ 18:00	講評	床呂郁哉(AA 研)、松村圭一郎(岡山大学)	
18:00 ～ 19:00	特別企画・挨拶	『文化人類学』『Japanese Review of Cultural Anthropology』の編集委員に聞く 執筆・投稿・査読に関わるあれこれ 情報提供 綾部真雄(首都大学東京) トム・ギル(明治学院大学) 閉会の挨拶 西井凉子(AA 研)	

*発表 50 分、コメント 20 分、質疑応答 20 分

**セミナー終了後は、多磨駅周辺において参加者・関係者による懇親会を予定しておりますので、こちらにも積極的にご参加ください。出欠は当日、会場においてとります。

***託児スペースを設ける予定です。希望者は、10 月 31 日までに AA 研吉田ゆか子 (yoshidayu★aa.tufs.ac.jp 星を@に変えてください) まで、連絡してください。また期日を過ぎてもお引き受けできる可能性もありますので、随時ご連絡ください。